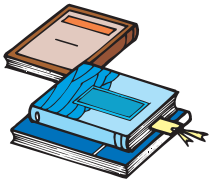
ほんの森

図書館☎84-3311



図書館休館日
2月5日(月)～8日(木)
毎週月曜日

特別整理期間のお知らせ

２月５日(月)～８日(木)は、館内資料の整理点検作業のため休館します。本を返却する場合は、返却ポストをご利用ください（返却ポストは玄関左奥にあります)。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

映　画　会

『ピノキオの冒険』ほか

日　　時　２月25日(日)
午前10時・午後２時
上映時間　１時間26分
場　　所　２階ハイビジョンホール
定　　員　各回120名
入　　場　整理券(無料)を２月10日(土)から配布します。ご希望の方は図書館カウンターまでお越しください。

金曜映画会

『風の色が見えた』ほか

日　　時　２月23日(金)　午後２時から
上映時間　１時間48分
場　　所　２階ハイビジョンホール
定　　員　先着100名　※整理券は不要です

文　芸

❖俳　句

朝市の白肌光る根深葱　浅野　茂子
虎落笛柵へ来ている又三郎　池田　逸子
年果てり小さき文字の農日誌　伊藤　敬子
初日の出怒濤の上に這う閃光　今関満喜子
小春日や釣れぬ釣り人船を漕ぐ　魚地　照子
風が行く枯芒野のきらきらり　江森　悦子
産土へ笑顔が揃う初詣で　大木　素風
落日を背にして爺の注連作り　川島　孝夫
身じろぎの叶わぬお役目鏡餅　川島　通則
新町の幸先明るく初日の出　桑名　大行
友より柚子を湯に入れ冬至かな　向後　寛
雪吊りや黄金の縄を空に投げ　佐瀬　輝夫
手袋の指先逃げる小銭かな　宍倉　道子
野火焼きの追われる如く追う如く　玉虫　栗扇
若水や明けを待ちわび一人汲む　土屋美枝子
初詣孫の受験の合格を　福田　幸子
黒髪を白紙に束ね巫女の春　布施　和代
障子貼り猫を相手の一人言　丸山　照美
紅の選びえらびしシクラメン　村上　淳
誰が墓やどてら着せある寒の風　山口　一秋
樽の椅子寄せて熱燗ふくみけり　渡部　和秋

❖短　歌

からからと音たて落葉吾が庭を転びてゐたり行きまた戻り　永藤　滋
やすりにて勾玉の石けづりゆき形整ふ度にときめく　池田　春江
ジャガ芋を手に転ばせて皮を剥ぐこのみそ汁の好きな娘思ひ　西山満里子
三世帯に曾孫も加へ新年を祝ふと親族集ひくれたり　吉岡　信子
竈の火絶やさず燃やし日暮れまで暮の餅搗く夫とふたりで　押尾　輝子
朝練に走り出で行く孫の背のランドセルの黒小さくなりゆく　鈴木まさ子
澄み透る空の青さの限りなく紅葉・黄葉の色深まりぬ　佐瀬　初音
亡き夫の愛用したるネクタイは吾が引く辞書のカバーとなりぬ　田崎　尚美
軒先に数多くなりし小鳥らがあちこち飛び交ひ若菜ついばむ　平山　芳子
雲間より光射し来て雪冠の蔵王の頂白金となる　八角　三枝
沙魚釣りも終りと言ひて釣竿を夫は見てゐつ初冬の縁に　芹川　初子
傷つきし分だけ優しくなるといふ言葉を夜半に思いてゐたり　上総　晴子
踏み切りに電車過ぐまを見し空に白木蓮の蒼空を刺しゐつ　長谷川正子
千代紙に折りたる雛季のきて今年も棚に飾りゆくなり　斎藤つね子
ご無沙汰のあの方この人思いつつ賀状認むせわし歳の瀬　安田　和子
雪達磨ずらりと並ぶ天気図にきびしき冬の北の地案ず　高梨　キヨ